

■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

2012 年の幕開けから早 1 か月が過ぎてしまいました。今年の年明けに、身の回りをきれいにしようとか、仕事は締め切りを守ろうとか固く心に誓ったのに、あっという間の 1 か月でした。1 か月が過ぎても身の回りは何もきれいになっていないし、締め切りをすぎて何とかお願いしている仕事があるし・・・いつからこんなふうになったのでしょうか。

先日、市民ホールのトイレを借りたとき、トイレットペーパーの横に「これまで 1 時間でできた仕事が 1 日たっても終わらないことがありますか?」という文章がありました。うんうんなるほど、最近はこんなことばかり。20 代、30 代ではあっという間にできていたはずなことが、最近はだんだんできなくなってきたなー。やっぱり年齢を重ねてくるとそんなこともあるのかな? と思い、このチラシを見て、みんなそうなんだと安心していました。ところがその先にもう 1 行ありました。「そんなときは心の相談窓口へ」・・・あれっ私って心が少しづつようになってきているのかしら? そういえば、昨年職場で行われた心のアンケート(全員が受けるものです)があり、その結果を見た看護師さんに「話したいことがあったら、ここで全部はきだしていきなさい」と先生(たぶん心の先生です)のいるブースを指されました。このアンケートには、仕事が好きですか? という質問がありました。最近とっても好きです(ホントですよ)が、これのポイントがとっても高いのです。この項目を選ぶと心がつらくなる方向に行くようです。仕事が好きと感じている皆様、少し心に休養を取った方がいいかもしれません。

126 号が、今年度のコンサルタンツ北海道の最後です。この 1 年の間に、日本技術士会が「社団法人日本技術士会」から「公益社団法人日本技術士会」へと名称変更し、北海道支部も北海道本部と組織名称が変更になりました。さまざまな団体と連携・協力協定を結び、今後、ますます活動の場が広がり、技術士会の活発化が期待されます。この 1 年間の行動を記した本誌をふり返し、活動の軌跡をみてください。心が温かくなります。

最後になりましたが、この 1 年間、日本各地でいろいろなことがありました。被災された方々には、1 日でも早く前の状態に戻れますよう心からエールを送りたいと思います。

広報委員会 佐藤厚子